

KADVO 活動内容

櫻井絹恵

神奈川海外ボランティア歯科医療団(通称KADVO)は、日本国民と東南アジア諸国の人々に対して、歯科医療・歯科口腔衛生教育及び歯蝕や歯周疾患の予防活動及び口腔疾患治療に関する事業を行い、当該国国民の健康の向上を図るとともに、教育支援を行うことによつて、当該国と日本国民の相互理解と友好を深め日本とアジア及び世界の人々の健康の増進に寄与することを目的としています。フィリピンにおいては30年間に渡り、セブを中心とするピサヤ地区でフリーデンタルクリニックを実施し、またフッ素洗口プロジェクト、歯科診療所の開設、里親奨学金制度の実施などの活動を行い、日本とフィリピンとの歯科医療技術交流と友好親善に貢献しています。

KADVO、セブ歯科医師会、更に日本、アメリカ、フィリピンのボランティアスタッフのジョイントで30年目のフリークリニックスが今年2月11日及び12日にセルヒオ・オスメニャ・シニア高校で行われました。約1800名の患者に充填、抜歯、スケールリングの処置を、また500名の児童に予防教育を行い、250名の患者に義歯を提供致しました。今回はJICAマニラオフィスにも協力して頂き、医療隊員が治療を待っている患者にマンツーマンでAIDS教育を行いました。毎年の様に多くの青年海外協力隊が参加して頂き嬉しいばかりです。また、2月13日には里親奨学金制度ハートペアレンツで教育支援を受けている子供達150名を招待し、懇親会を行いました。

KADVO、セブ歯科医師会、日本及びフィリピンのボランティアやスポンサーの皆様方に心より感謝して御礼を申し上げます。ボランティア活動は、単なる奉仕ではなく人から人、心から心への絆作りだと思っております。KADVOの慈善事業活動の根底は長年築き上げられた友情と信頼関係が根底にあり、今日まで継続されております。

医療サービスは貧富の差を超えて、本当に必要な人に与えられるべきだと思います。日本とフィリピンの医療及び歯科医療事情は大きく異なり、私の周りにも医療ミスで苦しんでいる人達が沢山います。何でもタイミングが大事で、体が危険信号を出している時に処置するのが理想ですが、日本国内の様に先端技術を使った診断や治療が出来ないのが事実です。将来、サポートシステムを確立する事を理想としています。治療の困難なケースに限り、可能な範囲内で相談に応じて行きたいと思っております。KADVOの活動は今後も必要とされる限り継続されて行きます。これからも皆様方の御支援と御協力を宜しくお願いいたします。